

第10回GX実行会議

「我が国のグリーントランスフォーメーション実現に向けて」

2023年12月15日

三菱商事エネルギーソリューションズ株式会社

代表取締役社長 岡藤裕治

GX実行会議（第10回）レジュメ

はじめに

- GXの実現に向けて、分野別の投資戦略やGX経済移行債を活用した投資促進策が具体化し、大詰めに来ていると感じており、関係者の皆様には感謝申し上げます。今後もGXを通じた日本の産業競争力の強化に主眼を置き、常に国内外の市場動向や産業構造の実態／変化をしっかりと見極めながら、GXに取り組む事業者の予見可能性を高める工夫を続けて頂きたい。
- 今回政府が舵を切り、「メリハリを付けた大胆な予算配分」、「産業として勝っていける分野の支援」を掲げたことも改めて大いに評価したい。今後世界に伍して競争に勝てる日本発のグローバルプレイヤーを戦略的に支援することは極めて重要な視点。またGX市場の健全な拡大の為には、各分野での製造側・需要側の一体的な取組みにより好循環を生み出していくことが重要。

1. GX経済移行債による投資促進策について

- 産業分野別に官民の投資額を広く検討した結果、官民150兆円投資の呼び水となるGX経済移行債による20兆円の支援額の現時点での概要が纏まったと認識する。
- これまでと繰り返しになるが、支援の執行段階においては、規制・制度による投資促進策と併せて、重点分野に対して時期を逸することがないようにスピード感を意識して支援をお願いしたい。総花的な分配は絶対に避けるべきで、投資先に関しては、その効果について不断の見直し図っていく仕組みの構築を重ねてお願いしたい。

2. 今後に向けた課題について

- 再エネの主力電源化に向けた国内サプライチェーンの育成について、日本の再エネ電源の国際競争力を強化する為に、再エネ設備の開発を下支えする国内の高付加価値な部品製造メーカーの技術革新を支援し、再エネ業界のサプライチェーン全体が底上げされるような枠組みの構築が望まれる。
- GXのアジア展開について、日本のGXをAZEC加盟国を中心としたアジア各国へ展開することは賛同するが、海外地域でのGX化を通じた脱炭素の進展と、わが国製造業の競争力の維持・向上をセットで考えていくことが重要で、その実現の為の投資促進策が改めて具体的に議論されていくことを期待する。AZEC加盟国地域で展開する有望な本邦企業を「より強くする」為の政府の横断的な支援・リーダーシップが必要と考える。